

卒業生のみなさんへ

それぞれの道へ進むみなさんに、保健室から最後に伝えたいことは…



お酒・タバコはダメ

「ありがとう」を口癖に

自分を大切に

卒業しても、みなさんはまだ未成年。お酒やタバコは成長の妨げになるだけでなく、依存症や病気になるリスクもあります。誘われても断る勇気を。

「ありがとう」は、言った人も言われた人も温かい気持ちになる言葉です。恥ずかしがらず感謝の気持ちを伝えられる人になってください。

つらいことや悲しいことがあったとき、まず大切にしてほしいのは自分の心と体。心のSOSのサインは体にあらわれます。そんなときはゆっくり休む時間を作ってください。

新しい場所でも健康に過ごせるよう、応援しています。



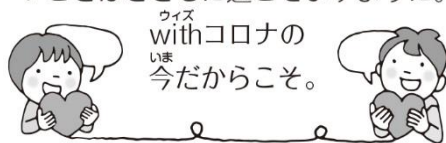
つながりは、やさしいことば

今まであたりまえにできたことができなくなったとき、「ああ、大切だったんだな」って、感じることはありませんか？

この一年はコロナでできないことがたくさんありました。学校でみんなと会えなかったり、距離をいつも開けていなくちゃいけなかったり。そんな中で「つながる」ことの大切さをつくづく感じていたように思います。

直接会えなくても、くっつけなくても、つながることができるのは、私たちにことばがあるから。だからことばはやさしく、あったかいものになりたいですね。

次の学年でも、みなさんがやさしいことばとともに過ごせますように。



「ladies and gentlemen」やめました

2020年10月、ある航空会社の機内アナウンスが変更になったのを知っていますか？ 乗客に向けたあいさつの始めに「ladies and gentlemen」と言うことをやめたのです。

(紳士淑女のみなさま)

さて、ここで問題です。アナウンスを変更した理由は为什么呢？

- ① 発音が難しいから ② かっこつけているみたいだから ③ 変更しても困る人がいないから



正解は③。男性・女性を区切った表現は、LGBTQ（性的少数者）の人につらい思いをさせるかもしれません。変更後に使われている「everyone（みなさま）」や「all passengers（すべてのお客さま）」という表現でも、乗客を大切にしたいという気持ちは十分伝わりますよね。

こんなちょっとした思いやりが少しずつ広がっていけばいいですね

